東海大学大学院
医学研究科

教員紹介

領域（医学部組織）
移植外科学

専門分野キーワード
腎移植、移植免疫、慢性腎不全、副甲状腺機能亢進症

教 員 氏 名　中村　道郎
取 得 学 位　博士（医学）
現在の身分（役職名）　移植外科学　教授
専 門 分 野　腎移植、移植免疫、慢性腎不全
現在の研究課題　制御性Ｔ細胞に着目した長期移植腎生着を実現するための免疫抑制療法の確立、腎移植後に遷延する副甲状腺機能亢進症の実態と病態解明、腎移植前後の Klotho 蛋白の推移と意義、移植腎線維化の評価法の確立と患者背景因子との関連性
所 属 学 会　日本外科学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会、日本内分泌甲状腺外科学会、日本透析医学会、日本腎臓学会、米国腎臓学会、米国移植学会

研究内容

1.制御性Ｔ細胞に着目した長期移植腎生着を実現するための免疫抑制療法の確立
腎移植患者における制御性Ｔ細胞の生着率への影響と免疫学的役割について明らかにする。腎移植前後における制御性Ｔ細胞の血中での割合とその機能的活性について研究する。また拒絶反応の頻度や移植腎機能に与える影響を解析する腎移植後の制御性Ｔ細胞の免疫学的役割を明らかにすることで、移植腎機能の維持や拒絶反応の予防に役立たせることが可能となる。
2.腎移植後に遷延する副甲状腺機能亢進症の実態と病態解明
腎移植後に遷延する副甲状腺機能亢進症が移植腎機能への影響を検討する。腎移植後に遷延性副甲状腺機能亢進症で手術を行った患者の摘出標本から、遷延する原因となる因子を解析し、その機序を解明する。
3.腎移植前後の Klotho 蛋白の推移と意義
腎移植後にもたらされる移植腎 Klotho の推移と腎予後への影響を明らかにする。腎移植前後の患者の血中 Klotho レベルを測定し、その推移を追跡する。また患者背景因子やミネラル代謝（FGF23 など）に関連する因子との相関を解析する。腎移植によってもたらされる Klotho が移植腎予後や生命予後に与える影響とその重要性を明らかにできる可能性がある。
4.移植腎線維化の評価法の確立と患者背景因子との関連
腎移植の長期予後を左右する移植腎線維化の客観的評価法と影響因子を解析する。定期的に行う移植腎生検の線維化の程度を、画像解析的手法で半定量化し、移植腎機能や種々の背景因子との関連性を解析する。

主要論文

1. Post-kidney transplant soluble Klotho levels are determined by pretransplant soluble Klotho levels in both living donors and recipients. Ishida H, Nakamura M, Komaba H, et al. Clin Exp Nephrol 25(12):1367-1374,2021

2. Preventive effect of early introduction of everolimus and reduced-exposure tacrolimus on renal interstitial fibrosis in de novo living-donor renal transplant recipients. Ishida H, Ougra G, Nakamura M, et al. Clin Exp Nephrol 24(3) :268-276, 2020.

3. Resurgence of parathyroidectomy: evidence and outcomes. Komaba H, Nakamura M, Fukagawa M. Curr Opin Nephrol Hypertens 26(4), 243-249, 2017.

4. Pathologic features of parathyroid glands associated with the pathogenesis of long-lasting persistent hyperparathyroidism after kidney transplantation in long-term dialysis patients. Nakamura M, Ishida H, Takiguchi S, Tanaka K, Marui Y. Transplant Proc 48(3), 874-877, 2016.

5. Mineral and bone disorders in kidney transplant recipients: reversible, irreversible, and de novo abnormalities. Hirukawa T, Kakuta T, Nakamura M, Fukagawa M. Clin Exp Nephrol 19(4): 543-555, 2015.

Copyright (C) 2022 東海大学大学院医学研究科. All Rights Reserved.